

# 自然観察指導員40周年 キックオフイベント



2019年3月9日 東京

# 植原 彰 プロフィール



1992 ぼくらの自然観察会

2000 いつでもどこでも自然観察

1993 学校で自然観察

1981- ネッシー自然教育研究会

1997 わくわく環境教育

1984- やまなしナチュラリストの会

1987- ノラやまなし自然観察指導員山梨県連絡会

2001- 乙女高原ファンクラブ

1993 ピクチャーカード 干潟編

1994 ピクチャーカード 雑木林編

作成委員

2001 全国大会新潟

実行委員

1993 学校における環境教育  
研修会参画

2015 講習会テキスト  
改訂三版監修

1981 受講

1989(平成1)- 講習会講師

2014- 理事

1978

1988

1998

2008

2018







# 自然観察、次の一歩へ

## 自然観察指導員40周年

- これまでの自然観察指導員制度の歩み
- 自然観察指導員の基本を、みんなで再確認
- これからの自然観察指導員活動



# これまでの自然観察指導員制度の歩み



1978. 7. 第1回講習会  
神奈川県足柄青年の家

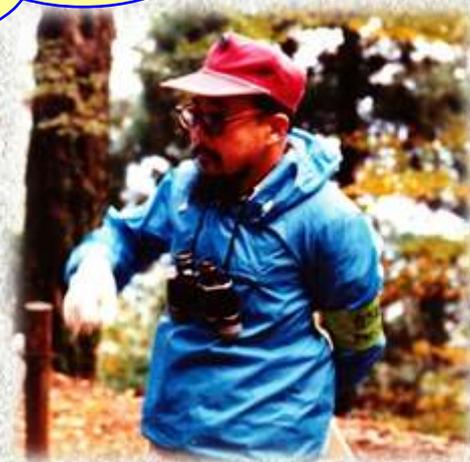
ほかにも大勢の  
魅力ある講師



青柳昌宏



柴田敏隆



金田 平

1978

1988

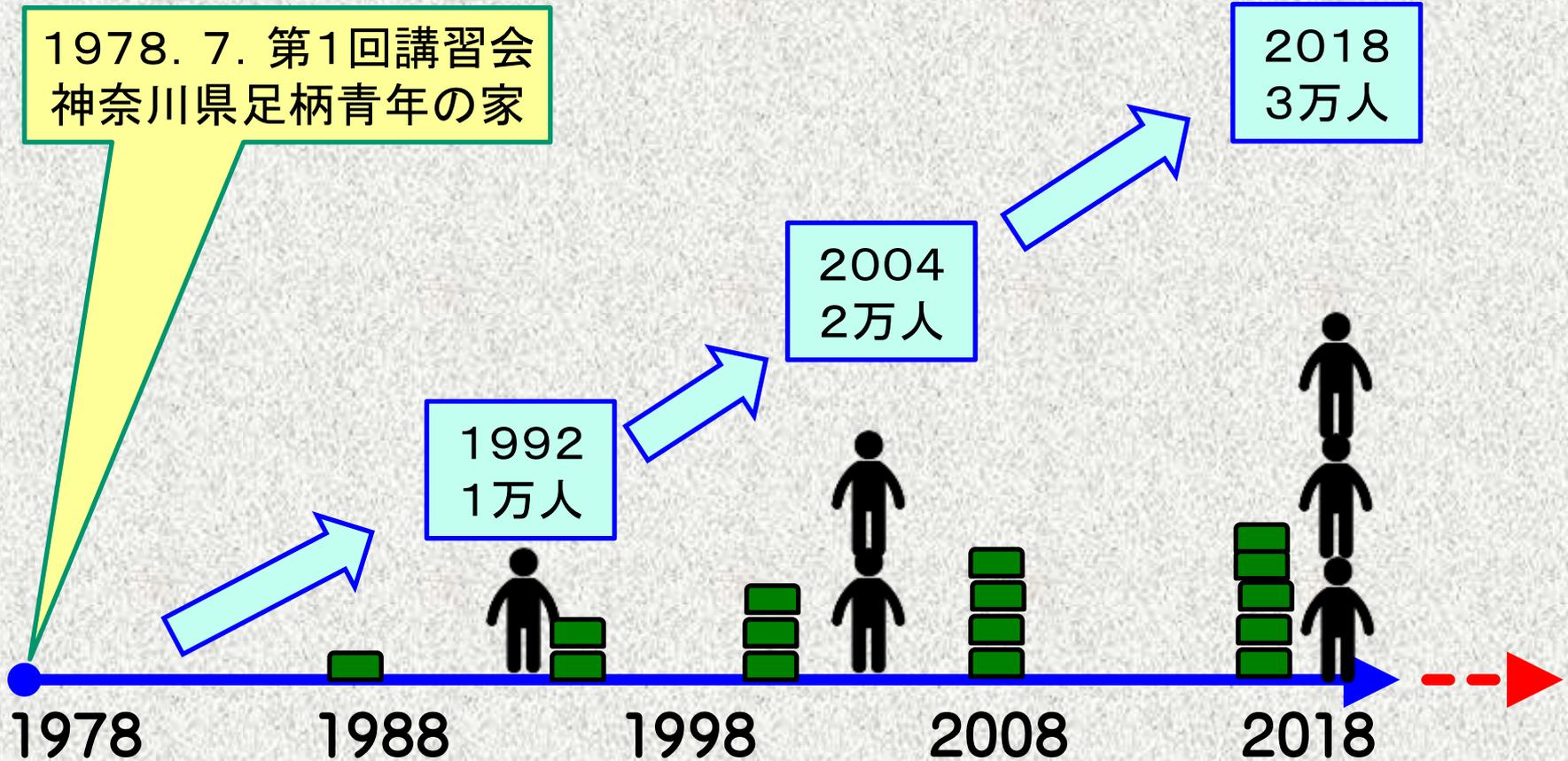
1998

2008

2018



# これまでの自然観察指導員制度の歩み





## すごいぞ、自然観察指導員 その1

- ・自然観察指導員講習会を40年間に500回、**全国各地**で開催。3万人が登録
- ・指導員は年間のべ**130万人**に観察会の機会を
- ・「自然観察」をふつうの言葉



# これまでの自然観察指導員制度の歩み



## すごいぞ、自然観察指導員 その2



### 自然かんさつ学入門シリーズ

1974 自然かんさつ学入門

1977 草原の自然かんさつ

1978 川の自然かんさつ

1979 雑木林の自然かんさつ

1981 いその自然観察

1981 自然観察指導48手



# これまでの自然観察指導員制度の歩み



## すごいぞ、自然観察指導員 その2

### フィールドガイドシリーズ

- 1982 II. 野外における危険な生物
- 1984 I. 自然観察ハンドブック
- 1985 III. 指標生物
- 1988 IV. ネイチャア・フィーリング
- 1992 V. 小さな自然かんさつ
- 1996 VI. 昆虫ウォッチング
- 2001 VII. 雪と氷の自然観察



# これまでの自然観察指導員制度の歩み



## すごいぞ、自然観察指導員 その2

### その他の本・報告書など

- 1990 「ボランティア参加における自然解説活動」のためのコーディネーター・ガイドブック
- 1993 ピクチャーカード 干潟編
- 1994 ピクチャーカード 雑木林編
- 1994 学校における環境教育
- 1996 自然観察会ははじめの一步
- 2004 自然観察会におけるリスクマネジメント



# これまでの自然観察指導員制度の歩み



## すごいぞ、自然観察指導員 その2

### 自然観察研修会

- 1980 シュノーケリング
- 1981 雪上自然観察
- 1982 指標生物
- 1984 昆虫ウォッチング
- 1984 学校における環境教育
- 1986 ネイチャア・フィーリング
- 1995 自然観察会ははじめの一步
- 2002 リスク・マネジメント
- 2005 子どもと自然観察

### フィールドガイドシリーズ

- 1982 野外における危険な生物
- 1984 自然観察ハンドブック
- 1985 指標生物
- 1988 ネイチャア・フィーリング
- 1992 小さな自然かんさつ
- 1996 昆虫ウォッチング
- 2001 雪と氷の自然観察

# これまでの自然観察指導員制度の歩み



## 事例① 白神山地 “森は大事”と誰もが思うようになった

1985年、自然観察指導員が**全国一斉ブナ林観察会**。ブナ林の知名度を引き上げた

1985年 ブナ＝樵「木で無い」  
林道建設&ブナ伐採、スギに転換

↓  
1993年 ブナ林＝「世界遺産」  
未来の世代に引き継いでいくべき  
人類のかけがえのない財産

重要なのは、  
開発が止まったことだけでなく、  
**価値観が変わったこと。**

1978

1988

1998

2008

2018



# これまでの自然観察指導員制度の歩み



## 事例② 愛知万博

「里山」という言葉がふつうになった

1996年11月案



保全ゾーン  
(Bゾーン)

1999年9月案



北地区

南地区

2000年4月案



南地区

2000年7月案



注1  
(8/18検討会議で削除)

駐車場

1997年、自然観察指導員  
が「子どもたちの自然観  
察の場をうばわないで！」

海上の... 全域530haは、県  
条例による... 保全地域になった。

1978

1988

1998

2008

2018



# これまでの自然観察指導員制度の歩み



## 事例③ 小学校自然観察支援ネットワーク

千葉県自然観察指導員協議会 子どもたちに自然観察を！



2018年の1年間に57件、子どもたち2769人に自然観察を。指導員のべ273人参加。

これまでの**19年間**でのべ**6万人**の子どもたちが参加



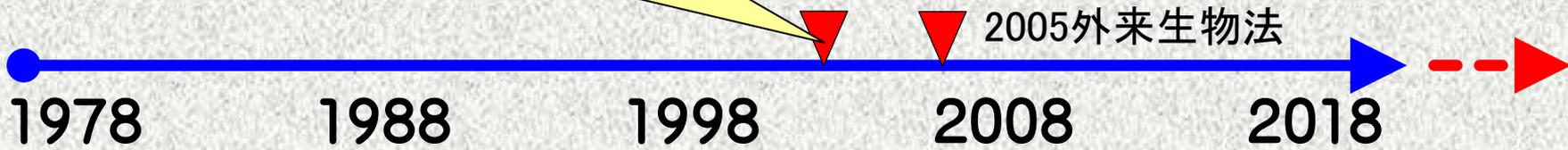
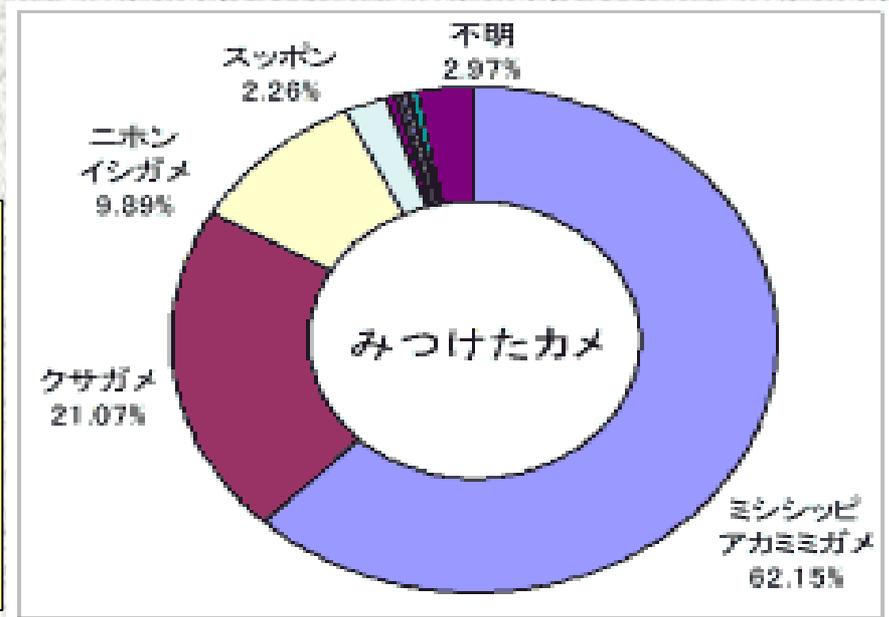
# これまでの自然観察指導員制度の歩み



## 事例④ 自然しらべ 外来生物法の制定をプッシュ



NACS-J自然しらべ2003～  
日本全国カメさがし～全国  
の指導員が観察会でカメを  
数えてみたら、**みつけたカメ  
の6割が外来種だった**



# これまでの自然観察指導員制度の歩み



1948年 IUCN  
(国際自然保護連合)

1972年  
国連人間環境会議  
(ストックホルム)

1982年  
国連人間環境会議  
(ナイロビ)  
1980年  
世界環境保全戦略  
(持続可能な開発)

1992年 **地球サミット**  
(環境と開発に関する国連会議)  
1992年 生物多様性条約

2002年  
持続的開発会議  
(ヨハネスブルグ)

1951年  
**NACS-J**

1971年 **環境庁**

1993年 **環境基本法**

2001年 **環境省**

公害対策

省エネ

地球環境

生物多様性

持続可能な  
社会

1966年 世界初のRDB

1978年 **自然観察指導員**

1995年 環境アセス法

50年代

60年代

70年代

80年代

90年代

21世紀

1951年 森林法改正  
(拡大造林)

1962年 『沈黙の春』

1972年 『成長の限界』  
ローマクラブ

1993年 種の保存法  
1992年 気候変動枠組条約

2002年 自然再生推進法  
2004年 外来生物法

終戦  
1945

1967年 公害対策基本法

1960年 産業別人口比、第一次と第三次が逆転  
高度経済成長

自然林伐採

バブル経済

1987年代 リゾート法

世界人口  
60億突  
破

グローバリ  
ゼーション

公害

埋立

1970年代 オイル  
ショック

気候変動  
オゾンホール

里山崩壊

トキ絶滅

外来生物

# これまでの自然観察指導員制度の歩み



- ・指導員講習会を40年間に500回、3万人。
- ・年間のべ130万人に観察会。
- ・様々なフォローアップの機会・書籍・グッズ
- ・指導員の活動が評価されている。

すごいで、自然観察指導員







自然を豊かなまま次の世代に渡す

自然を大切にする人が増える

自然を大切にする社会をつくる

自然観察会をする



# 自然観察指導員の目で自然を観よう

自然を・・・

そっと観る

じっと観る

ずっと観る





自然を守る

自然を知る

自然に親しむ

自然を知る’

自然に親しむ’

自然観察指導員の目で自然を観よう



自然を大切にする  
心づくり

自然を大切にする  
社会のしくみづくり

自然観察会をしよう

問題を見つけたら、  
きちんと対処しよう

なじみの自然を持とう

自然観察指導員の目で自然を観よう

# 自然観察からはじまる自然保護



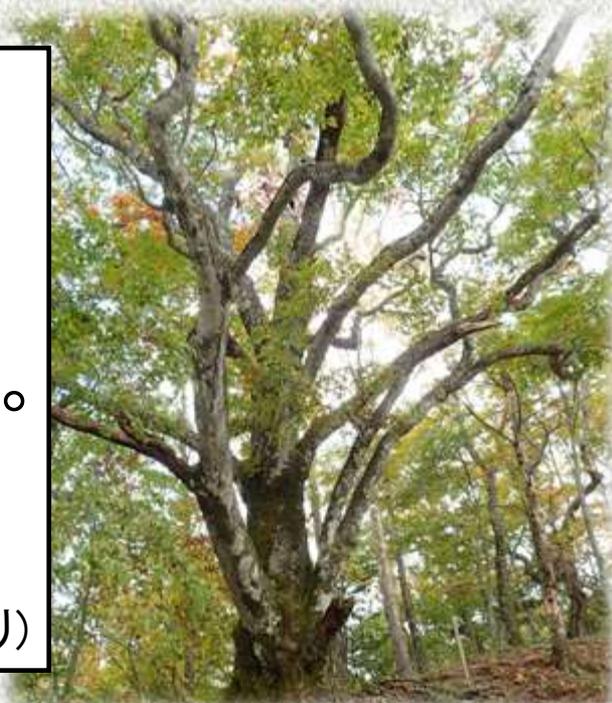
自然を・・・  
そっと観る  
じっと観る  
ずっと観る

乙女高原くらい オモシロい場所はない  
乙女高原くらい ステキな場所はない  
乙女高原くらい かけがえのない場所はない

(今井信五さんのコトバより)

地域に自然観察指導員がいることで  
人々は地域の自然に関心を持てる。  
人々は地域の自然がよくわかる。  
人々に地域の自然の姿が見えてくる。  
人々は地域の自然を守ろうと思う。  
そして、地域の自然が維持される。

(今井信五さんのコトバより)





SDGsの鍵としての自然保護・自然観察

エス ディー ジーズ

SDGs

Sustainable Development Goals

持続可能 開発(発展) 目標s



# SDGsの鍵としての自然保護・自然観察

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<b>1</b> 貧困をなくそう 	<b>2</b> 飢餓をゼロに 	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を 	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに 	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう 	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に 
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	<b>8</b> 働きがいも経済成長も 	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう 	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう 	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	<b>12</b> つくる責任 つかう責任 
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を 	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう 	<b>15</b> 陸の豊かさも守ろう 	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	<b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう 	<b>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</b> 2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です



# 社会の課題に指導員らしいアプローチを

介護施設のおじいちゃん・おばあちゃんに自然観察で元気になってもらえないかなあ。

子どもたちはスマホやゲームばかり。リアルな自然観察で「生きる力」を！

企業と連携して自然観察会ができないかな。

過疎化

貧困化

心の病

コミュニティづくり

地域活性化





## NACS-J への要望

- ・自然観察指導員**制度**の充実  
研修会、書籍、ネットワークへの支援
- ・自然観察指導員を巻き込んでの活動  
(巻き込む＝育てる)

分科会では皆さんからのNACS-Jへの要望も聞かせてください！





人とつながる 自然とつなげる

# 自然観察指導員



つづく